

クボタシーアイ株式会社 小田原工場

1 工場概要

- ▶ 住所 〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂7-6-1
- ▶ 従業員数 182名（平成22年4月1日現在：派遣社員31名含む）
- ▶ 敷地面積 61,292m²

2 事業概要

▶ 主要製品

パイプ

塩ビパイプ

一般、HI、SGR-NA、SRA、SRB、
耐熱、電線、三層、二管路、
農水圧力、下水、カラー



SGR継手・ゲートバルブ



カラーパイプ、継手

継手

塩ビ継手

TS、HI、DV、VUDV、耐熱、
リブ、透明、カラー、SGR
ハイゲートバルブ



HI継手



耐熱継手

3 工場変遷

- | | |
|--------------|--|
| 昭和42年 (1967) | ビニルパイプ工場完成
電電公社向け保護用塩ビパイプ生産開始 |
| 昭和53年 (1978) | SGR-NAパイプ生産開始 |
| 昭和56年 (1981) | ポリブデンパイプ生産開始
松田出荷センター完成 |
| 昭和58年 (1983) | ガス用ポリエチレン管の生産開始 |
| 平成11年 (1999) | SGR-NAVH管の生産開始 |
| 平成13年 (2001) | リサイクル三層発泡管の生産開始 |
| 平成14年 (2002) | リサイクル三層管(ソリッド三層管)の生産開始
小田原西配送センター完成 |
| 平成17年 (2005) | クボタシーアイ(株)設立 |
| 平成18年 (2006) | 生産供給体制の一層の最適化を目指し、ポリブデン管
ガス用ポリエチレン管の生産拠点変更を実施 |
| 平成21年 (2009) | 生産拠点再編により、耐熱パイプ・継手、TS・HI継手、
ハイゲートバルブの生産開始 |

4 環境方針

▶ ISO環境方針

クボタシーアイ(株)小田原工場は、原材料受入れから生産、出荷、製品及びサービスに至る活動において「地球環境・地域環境の保全に配慮した企業活動を行うこと」を基本理念として、環境方針を定めます。

1. 地球環境の保全のため、地球温暖化防止に努めます。
2. 資源再利用、並びに廃棄物の減量に積極的に取り組みます。
3. 環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境負荷の低減、並びに汚染の予防に努めます。
4. 法令を遵守するとともに、地域社会との共生を図る環境保全に努めます。
5. 環境方針を組織で働く又は組織のために働くすべての人に周知するとともに、環境に関する啓発・教育活動を推進し、環境意識の向上を図ります。

平成 20年 6月 1日改定

クボタシーアイ株式会社 小田原工場長

井上 洋二郎

▶ ISO認証取得状況

平成12年1月19日 (2000)	日本科学技術連盟の登録証受領((株)クボタ名で受領)
平成15年1月19日 (2003)	第1回更新登録証受領((株)クボタ名で受領)
平成18年1月19日 (2006)	第2回更新登録証受領(クボタシーアイ(株)とクボタ松下電工外装(株)の連名で受領)
平成19年1月19日 (2007)	第1回サーベイランス継続合格(クボタシーアイ(株)とクボタ松下電工外装(株)の連名で受領)
平成20年1月19日 (2008)	第2回サーベイランス継続合格(今回よりクボタシーアイ(株)の単独受審)
平成20年8月28日 (2008)	第3回更新登録証受領(クボタシーアイ(株)で受領)
平成21年8月27日 (2009)	第1回サーベイランス継続合格
平成22年8月26日 (2010)	第2回サーベイランス継続合格

5 新・環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2009年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO2の削減	CO2排出原単位 (T/億円)	2008	▲1%	▲ 1.7%	○	
		CO2排出量(T)	2008	▲1%	+21.4%	×	生産拠点再編による生産量の増加
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位 (T/億円)	2008	▲2%	▲ 17.1%	◎	
	ゼロ・エミッション	埋立比率	—	0.5%以下	0.01%	◎	
	水資源の節約	水使用量原単位 (m ³ /億円)	2008	▲1%	▲ 15.8%	◎	
有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	排出移動原単位 (Kg/億円)	2008	▲2%	+42.5%	×	生産拠点再編による生産量の増加

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 ×:目標未達成 —:該当なし

注)新・環境保全中期計画のCO2排出量実績値の算定の際は、2008年度の単位発熱量及びCO2排出係数を使用しています。

環境 TOPICS

- 1) 生産拠点の再編により、継手の生産量が増加しました。(平成21年5月)
- 2) 1)の対応の為、騒音の未然防止対策として防音壁(継手北側)を設置しました。(平成21年5月)
- 3) 小田原市地球環境保全協定の締結をしました。(平成21年12月1日)
- 4) ISO14001: 2004での小田原工場環境マネジメントシステム第2回継続合格になりました。(平成22年8月26日)
- 5) OA紙削減チームがクボタグループ環境功績賞を受賞しました。(平成21年10月1日)
- 6) 地域の美化活動に参加しました。
『クリーンさかわ』(平成22年5月16日)、工場周辺ボランティア清掃活動(平成22年6月23日)

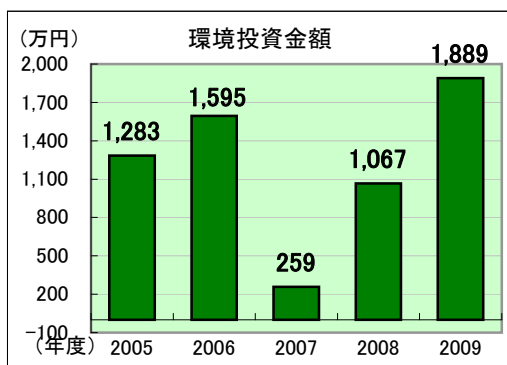
クボタシーアイ株式会社 小田原工場

6 環境会計

① 環境投資

2009年度:1889万円

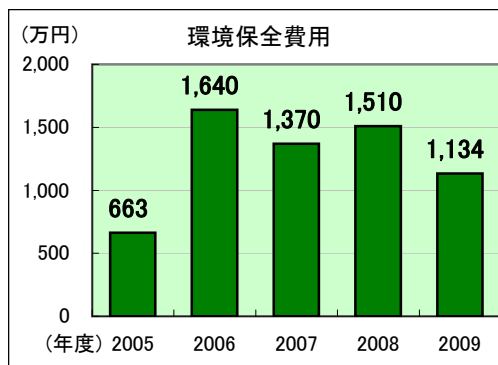
堺工場からの設備(射出成形機、混練施設)移設に伴う環境対策を実施しました。
(防音壁設置、集塵機設置、成形機油ため溝設置)



② 環境保全費用

2009年度:1134万円

冷却装置の整備に関わる費用として使用しました。
(チラー凝縮機の清掃、クーリングタワー清掃)



③ 環境保全効果

- 1) 生産拠点再編により生産量が増加し、エネルギー使用量は前年比23%増加しました。
- 2) 生産拠点再編により生産量が増加し、CO₂の排出量は前年比21%増加しました。
- 3) チラー凝縮機、クーリングタワーの清掃作業により能力の維持管理をしました。

効果の内容	効果	2008年度	2009年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	231,911	285,775	53,864	23.2 %
	水使用量(m ³)	66,608	69,310	2,702	4.1 %
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	10,227	12,376	2,149	21.0 %
	SO _x 排出量(t)	0	0	0	
	NO _x 排出量(t)	0	0	0	
	ばいじん排出量(t)	0	0	0	
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	0.142	0.25	0.108	76.1 %
	廃棄物排出量(t)	84.1	86.1	2.0	2.4 %
	廃棄物埋立量(t)	0.1	0.1	0	

④ 経済効果

2009年度:264万円

集中集塵用大型集塵機を廃止し、個別集塵用小型集塵機に分散させた。

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	集塵機の個別化(大型集塵機を停止し、小型化)	77.0 万円
ゼロ・エミッション化対策	有価物売却金額	186.8 万円
合計		263.8 万円

クボタシーアイ株式会社 小田原工場

7 環境パフォーマンス

① 地球温暖化の防止

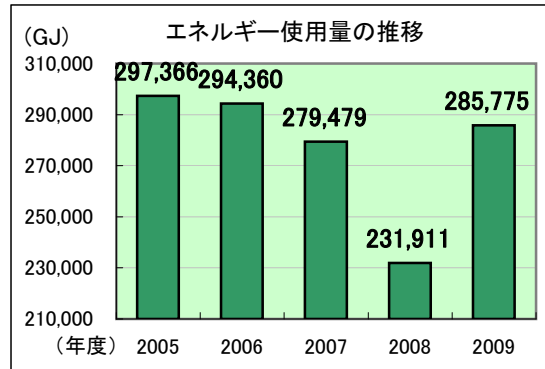
省エネルギー活動

・生産拠点再編により生産量が増加し、エネルギー使用量(単位:GJ)は増加しました。

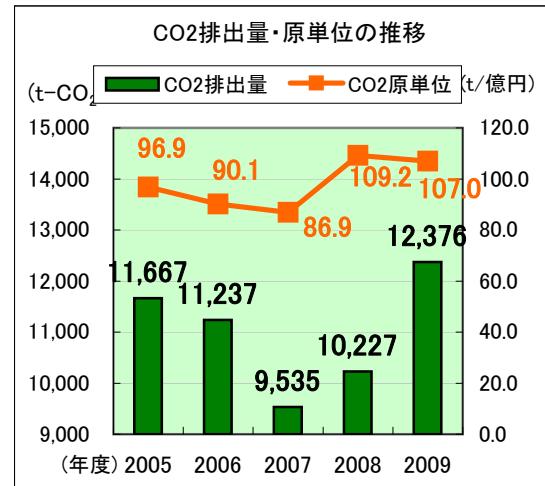
(前年度比23.3%増加)

・エネルギー使用量原単位(単位:GJ/億円)は削減できました。(前年度比:▲0.19%削減)

	エネルギー使用量:GJ	原単位:GJ/億円
2008年	231,911	2476
2009年	285,775	2470

CO₂排出量の削減

CO₂排出量は生産量の増加で前年度比21%増加したものの、CO₂の排出原単位(CO₂排出量/生産金額)では▲1.6%削減しました。

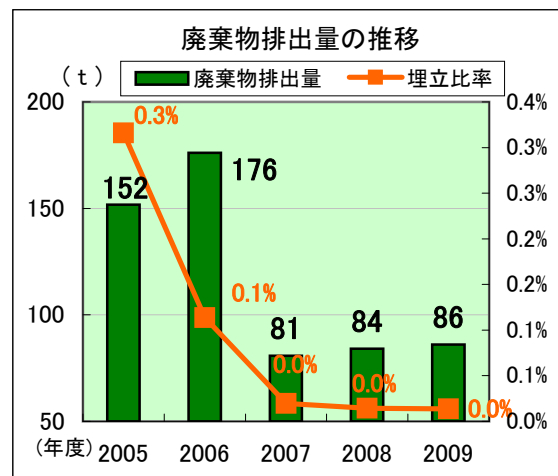


② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

ゼロ・エミッション化

ゼロ・エミッション(埋立比率:0.5%未満)の達成を継続しています。



注: 2005~2006年度 埋立比率(%)=埋立量÷廃棄物排出量

2007~2009年度 埋立比率(%)=(直接埋立量+中間処理後最終埋立量)÷(有価物量+廃棄物排出量)

クボタシーアイ株式会社 小田原工場

③ 有害化学物質の削減

PRTR法対象物質の排出量・移動量

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
230	鉛及びその化合物	1.5 Kg	—	—	—	—	232.1 Kg
176	有機錫化合物	0.1 Kg	—	—	—	—	16.2 Kg

8 環境コミュニケーション

① 地域美化活動

名 称 小田原市主催の「クリーン酒匂」での酒匂川清掃

日 付 平成22年5月16日

参加人数 11名



クリーン酒匂にて

名 称 工場周辺(工場南通路東端からマンションの前まで)の清掃

日 付 平成22年6月23日

参加人数 57名



工場南の歩道と道路清掃

② 教育への支援

- | | |
|-----------------------|----|
| 1)特管物管理責任者講習 | 2名 |
| 2)危険物保安講習 | 7名 |
| 3)環境管理技術教育(クボタ教育センター) | 1名 |

クボタシーアイ株式会社 小田原工場

9 サイトデータ

▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算(GJ)	
エネルギー	電気	万kWh	2,905	281,529
	ガソリン	kℓ	0.5	16
	都市ガス	千m ³	73.0	3,141
	灯油	kℓ	—	—
	軽油	kℓ	27.0	1,036
	重油	kℓ	—	—
	LPG	t	1.0	53
	他		—	—
合計		—	285,775	

水使用量	万m ³	3.4	上水
		3.5	地下水

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	12,376
---------------------	-------------------	--------

放流先	項目	単位	C排水口		D排水口	
			規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域	pH	—	5.8~8.6	8.1	5.8~8.6	7.6
	BOD	mg/ℓ	60	1.0未満	60	1.1
	COD	mg/ℓ	60	1.0	60	1.7
	窒素	mg/ℓ	120	0.5	120	0.5
	りん	mg/ℓ	16	0.08	16	0.06未満
	六価クロム	mg/ℓ	0.5	0.05未満	0.5	0.05未満
	鉛	mg/ℓ	0.1	0.01未満	0.1	0.01未満
	COD総量規制値	kg/日	—	—	—	—
	窒素総量規制値	kg/日	—	—	—	—
	りん総量規制値	kg/日	—	—	—	—
下水道	pH	—	—	—	—	—
	BOD	mg/ℓ	—	—	—	—
	COD	mg/ℓ	—	—	—	—
	SS	mg/ℓ	—	—	—	—

※C排水口測定値はクボタ松下電工外装(株)測定分

廃棄物排出量	t	86
埋立比率	%	0.01